

未来へつなぐ「丹波の森創造プラン」

みんなで

丹波の森づくり

《人と自然と文化の調和した地域づくり》



ネイチャーポジティブの推進に取り組みます

「ネイチャーポジティブ」とは、自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め、反転させるための行動をとることを言います。



With The Tamba Forest

公益財団法人兵庫丹波の森協会

丹波市柏原町柏原5600 丹波の森公苑内 1F

兵庫丹波の森協会

検索

「丹波の森宣言」って何？

きっかけは

1987年(S62)頃はバブル経済の中、全国各地で山や農地をつぶして開発が進んでいた。丹波地域も高速道路開通、JR複線電化が進む中、無秩序な開発などによる画一的な都市化が危惧されるようになった。

はじまりは

1987年(S62)4月、当時の貝原俊民兵庫県知事や河合雅雄先生が「丹波は森の国、人と自然と文化を大切にしたい交通網の整備と祭典を機にエネルギーを結集して、ウィーンの森のような丹波の森づくりを進めよう」と提言

丹波地域住民みんまで

1988年(S63)、丹波地域住民で組織する「丹波の森10人委員会」、「100人委員会」で議論し、「丹波の森1,000人大会」で「丹波の森宣言」を採択。丹波地域21,616世帯が同意署名する。

丹波の森の「森」とは

山だけでなく、川や田んぼ、まちなど丹波地域のすべての場所、そして人や地域、歴史、文化など丹波地域の資源すべてを「森」という言葉で表現している。

丹波の森宣言

昭和63年9月1日

～人と自然と文化の調和した地域づくり～

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを、次のように進めることを宣言します。

- ① 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- ② 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- ③ 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- ④ 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

1989年(H1)、指針となる「丹波の森構想」策定

2023年(R5)、具体的推進のための「丹波の森創造プラン」策定



(公財)兵庫丹波の森協会って、 どんなところ？

● 設立趣旨は？

● 丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波地域の森づくりを推進するため、次の事業を実施する組織として、合併前の10町が一緒になって設立されました。

- 1. 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2. 自然とのふれあいに関する事業
- 3. 新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
- 4. 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5. 丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6. その他目的達成のため必要な事業

● どこにあるの？

● 🏠 丹波市柏原町柏原5600番地 丹波の森公苑1Fに事務所があります。

● ☎ 0795-73-0933

● 📠 0795-86-8510

● ✉ morikyokai00@tanba-mori.or.jp

● 🌐 <https://www.tanba-mori.or.jp>

● どんないことをしてるの？

● 🌳 住民参画と協働による丹波の森づくりの推進を図っています。

● 🌳 丹波の森づくりのためのリーダー育成や調査研究・啓発、ウィー
ンの森との交流等の事業に取り組んでいます。

● 🌳 丹波の森構想の推進拠点である「丹波年輪の里」「ささやまの森
公園」「丹波並木道中央公園」を運営管理しています。

● 🌳 丹波地域のシンクタンク並びに中間支援組織となることを目標に
「丹波の森研究所」を設置しています。

丹波の森

“丹波の森創造プラン”
って何だろう？



いったい私たちは、
何をやれば
いいのかな？

丹波の健全な発展をどこまで自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます

丹波の自然景観を大切に、花と緑の美しい地域づくりを進めます

1) 丹波らしい土地利用を進める

・丹波ならではの農業、自然環境、そして美しい景観を未来につなぐため、無秩序な開発を抑制し、計画的な土地利用を進める。

2) 山（森林）を守り育てる

・森林の多面的機能を維持し、自然の恵みを享受できる山（森林）を未来につなぐため、適切な森林管理、広葉樹林化、里山の整備・活用、森林資源のエネルギー活用、丹波産材を活用した木育を進める。

3) 川や水辺を守り育てる

・丹波の自然や生物多様性に配慮した丹波の森にふさわしい水辺空間（河川、水路、ため池、河畔林など）を守り育て、暮らしのさまざまなシーンで活用する。

4) 農地を守り育てる

・丹波の森の資産である農地を将来に向かって保全し、丹波ブランド特産物の振興、小規模農家の維持と継承、多様な担い手の確保、スマート農業技術の導入、環境に配慮した農法、動植物との共生を図りつつ獣害対策を進める。

5) 野生動植物と共生する

（生物多様性を育む）

・森や川、田んぼなどに棲む動植物の多様性を守り、学校でのふるさと教育、水辺の自然を生かした川づくり、生き物や環境に配慮した水路や農作物の栽培方法など、野生動植物と共生を進める。

6) 丹波らしい景観形成を進める

・城下町や農村集落など、丹波らしい景観づくり、歴史的な街並みの保全と活用、住民の創意工夫による彩とうるおいのある緑豊かな地域づくりを進める。

7) 公園を活かし、自然を体感する

・丹波の森公園、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園など多様で多彩な緑空間の活用と、これらを結ぶサイクリングやハイキングなど環境の整備に取り組む。

8) 森（丹波地域）を巡る道を活かし、景観を楽しむ

・人や景観に配慮した道路整備、人にやさしい歩きたくなるまちづくり、主要駅と観光地をつなぐ公共交通サービス、4街道などでの休憩や眺望を楽しめるスポット整備を進める。

9) 花を飾り、もてなす

・丹波地域全体で花で飾るおもてなし空間、桜つつみ回廊など桜並木や植樹帯の保全と植え替えなどを進め、巡り楽しめるような仕組みをつくる。



創造プラン

昭和63年に
丹波地域みんなで
話し合い、
4つの項目からなる
“丹波の森宣言”が
発表されました。



“丹波の森宣言”の
4項目を引き継ぎ、
“丹波の森創造プラン”として
丹波の森づくりの進め方を
わかりやすく整理しました。
👉詳細は下記のQRコードで
チェックしてください。

丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切に
し、個性豊かな地域文化を育てます

丹波の素朴さと人情を大切に、安らぎ
と活力に満ちた地域づくりを進めます

1 0) 文化と歴史を大切に、その文化 価値を内外に広く発信

・文化と歴史を未来につなぐため、山城跡の保存と活用、生活文化の担い手となる若者のふるさと意識の醸成、歴史的な建物の保全と多面的活用、丹波地域の気候風土・文化に合った木造住宅の普及、おもてなしの空間づくり、都市住民が地域に関われる取組みを進める。

1 1) 恐竜が生きた大地で暮らす


・点在する恐竜スポットの見どころや道案内システムを充実、地域資源を活用した体験型ツアー、恐竜や化石に関する情報を発信する。



1 2) 森の中で芸術・文化・スポーツを 楽しむ

・丹波の森を体感できる芸術・文化・スポーツに関するイベントを企画・発信できる人材づくり、スポーツ・文化・芸術に関する催しを開催する。



取組みの概要を記載しています。

より詳しく知りたい方は
こちらをチェック 

 丹波の森創造プラン 



1 3) “もりびと”になって、ふるさとを 元気にする

・丹波地域に暮らす人、移住者、関わりのある人（関係人口）などのほか、企業も含めて丹波の森づくりに積極的に取り組む人“もりびと”を育てるとともに、地域で積極的に活躍する人材を育成する。

1 4) 丹波ブランドを育成し、産業を振 興する

・新たなビジネスの場・拠点の創出、丹波地域で暮らす人も移住者も、地域の産業を担う人材となるような仕掛けづくり、若者にとって丹波地域が魅力ある就業先となるよう地域産業を振興・育成する。

1 5) 丹波ファンを拡大し、交流を促進 する

・魅力ある農林業体験や工芸体験、丹波ファンや関係人口の獲得、農家民宿など様々な宿泊や滞在、空き家情報など生活に必要な情報を提供、自然や農とつながるライフスタイルづくりに取り組む。

1 6) 大交流時代（国際化）に対応する

・姉妹都市・交流都市との連携・交流を促進、多言語による情報発信と案内やサポート体制づくり、多文化共生の取組みを推進する。

1 7) 安全安心な地域をつくる

・あいさつ運動や高齢者等の見守り体制づくり、集落ぐるみの防災・減災に向けた取組み、歩行者の安全確保や危険な空き家等の適正な管理に取り組む。

1 8) 集落に暮らし、未来につなぐ

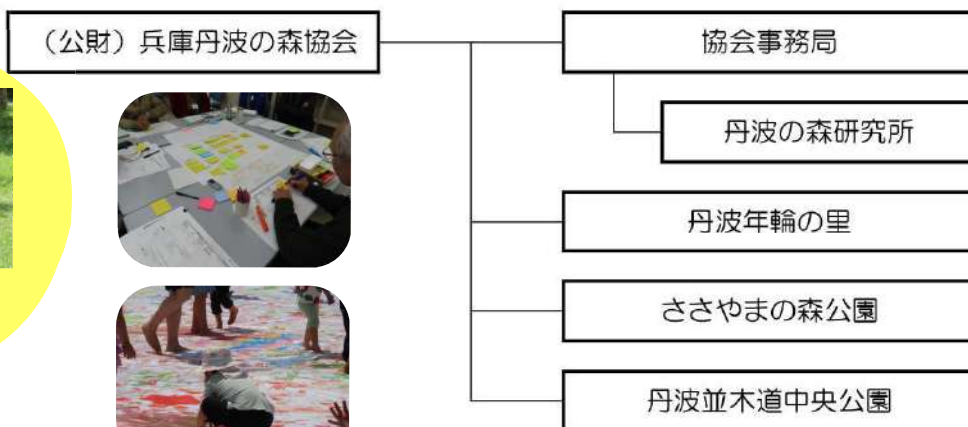
・明るく活気のある集落づくり、集落の維持活動に積極的に携わる人、移住者や関係人口など集落の維持に必要な活動に関われる仕組みづくり、公共交通の維持確保、地域と関わる特色ある教育プログラムなどによる“もりびとづくり”につながる仕組みや拠点をつくる。



(公財) 兵庫丹波の森協会

もりびとに
なろう！

◆組織図



電話：0795-73-0933 FAX:0795-86-8510
 住所：丹波市柏原町柏原5600
 (丹波の森公苑内 1F)



◆取組み

1. 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために、

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2. 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3. 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

丹波のもりびとづくり
(人材育成)



丹波の森大学



世界の森国際交流



講座「丹波学」



昆虫大捜査線



丹波のむかしばなし



音楽活動振興助成 (ウチタ・シユウ・舞臺)



「丹波の森づくり」を推進する協会事務局と3施設

“丹波の森宣言”
の理念浸透を図る

協会事務局・丹波の森研究所

丹波地域の住民同意によって採択された「丹波の森宣言」を大切にして、丹波の森構想・丹波の森創造プランに基づき、事業推進に努めています。



住所：丹波市柏原町柏原5600
(丹波の森公苑内1F)
電話：0795-73-0933 FAX：0795-86-8510

クラフト創造遊苑

丹波年輪の里



木とふれあい、
木に親しむ
手作りの楽しさを
体験してみませんか



住所：丹波市柏原町田路102-3
電話：0795-73-0725
FAX：0795-73-0727

里山で森遊び

ささやまの森公園



森を歩き、森と遊ぶ
豊かな森を体感してください



住所：丹波篠山市川原511-1
電話：079-557-0045
FAX：079-557-0201

公園の
ある暮らし

丹波並木道中央公園



本公園は「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。



住所：丹波篠山市西古佐90
電話：079-594-0990
FAX：079-594-0991

公式SNSでも情報配信中

Follow US.



公益財団法人 兵庫丹波の森協会
丹波年輪の里・ささやまの森公園
丹波並木道中央公園

(公財) 兵庫丹波の森協会は、丹波篠山市・丹波市からの出捐金・負担金及び兵庫県等からの補助金、並びに各施設の指定管理料を主な財源として運営しています。

丹波の森づくり «人と自然と文化の調和した地域づくり»
未来へつなぐ「丹波の森創造プラン」

「丹波の森づくり」啓発用パンレット

2026年6月発行